

台湾本島新北市で ランピースキン病(※)が発生しました。

4月15日、台湾本島北部の新北市の肉用農場においてランピースキン病の発生が確認されました。

ランピースキン病は東アジア、東南アジアで発生拡大しており、直近では、今月、タイにおける初めての発生が確認されています。

つきましては、アジア地域からの節足動物(蚊などがランピースキン病の病原体を運びます)の飛来により、ランピースキン病が国内へ侵入する可能性があります。



ランピースキン病が発生した台湾本島新北市

ランピースキン病を疑う家畜を観察した場合は、家畜保健衛生所までご連絡をお願いします。

※ランピースキン病(届出伝染病)

ランピースキン病の病原体はウイルスです。臨床症状は食欲がない、発熱、全身、特に首、背中、脚、外陰部に結節(皮膚にできたでき物)や腫瘍(はれもの)がみられます。その他、乳量の減少、鼻水、よだれが認められます。



結節が確認された牛

問い合わせ先: 高知県西部家畜保健衛生所

電話: 0880-37-2148

夜間・休日: 090-8978-6474 (西部本所の携帯番号)

080-1999-8324 (高南支所の携帯番号)

080-1999-5783 (梶原支所の携帯番号)

※休日・夜間で西部本所の携帯が繋がらない場合は、高南支所、梶原支所の携帯にご連絡をお願いします。